

### 【研究課題】

手根管症候群に対する鏡視下手根管開放術後経過の検討

### 【研究期間】

研究実施期間：2020年4月～2021年11月

研究対象登録期間：2019年1月～2020年9月30日

### 【研究の概要】

当院では、手根管症候群で手術を行った患者様の術後の経過を、作業療法にて定期的（術前、術後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、1年）に評価しています。当院における術後経過の傾向を明らかにすることを目的として、手術後の運動機能や知覚機能、日常生活動作等の改善時期を把握し、その推移を調査する臨床研究を行います。

### 【対象】

2019年1月～2020年9月に当院にて鏡視下手根管開放術を行い、6か月以上経過観察が可能であった手根管症候群患者様を対象とします。

### 【研究方法】

術前、術後1か月、3か月、6か月時に、握力、ピンチ力、Semmes-Weinstein test (SW-test)、2点識別覚検査、Hand20、Carpal Tunnel Syndrome Instrument (CTSI)、手の満足度のNumerical Rating Scale (NRS) を評価します。また、年齢、性別、職業、既往歴をカルテより抽出します。なお、これらの情報はすべて、手術を行った手根管症候群患者様に対する通常の作業療法評価にて実施される項目です。

これらの情報を匿名化し、集計・分析を実施します。

### 【個人情報の取り扱い】

個人情報保護のため、個人を識別できる情報（氏名、住所、電話番号）は使用しません。また、本研究は、通常の診療の範囲内で行われるために、研究対象者になることによる不利益はないと考えられます。

この研究成果は2021年度の日本農村医学会にて発表する予定です。

### 【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等ありましたら、下記までお問い合わせください。

研究責任者：江南厚生病院 リハビリテーション技術科 花木真未

電話：0587-51-3333（代表）